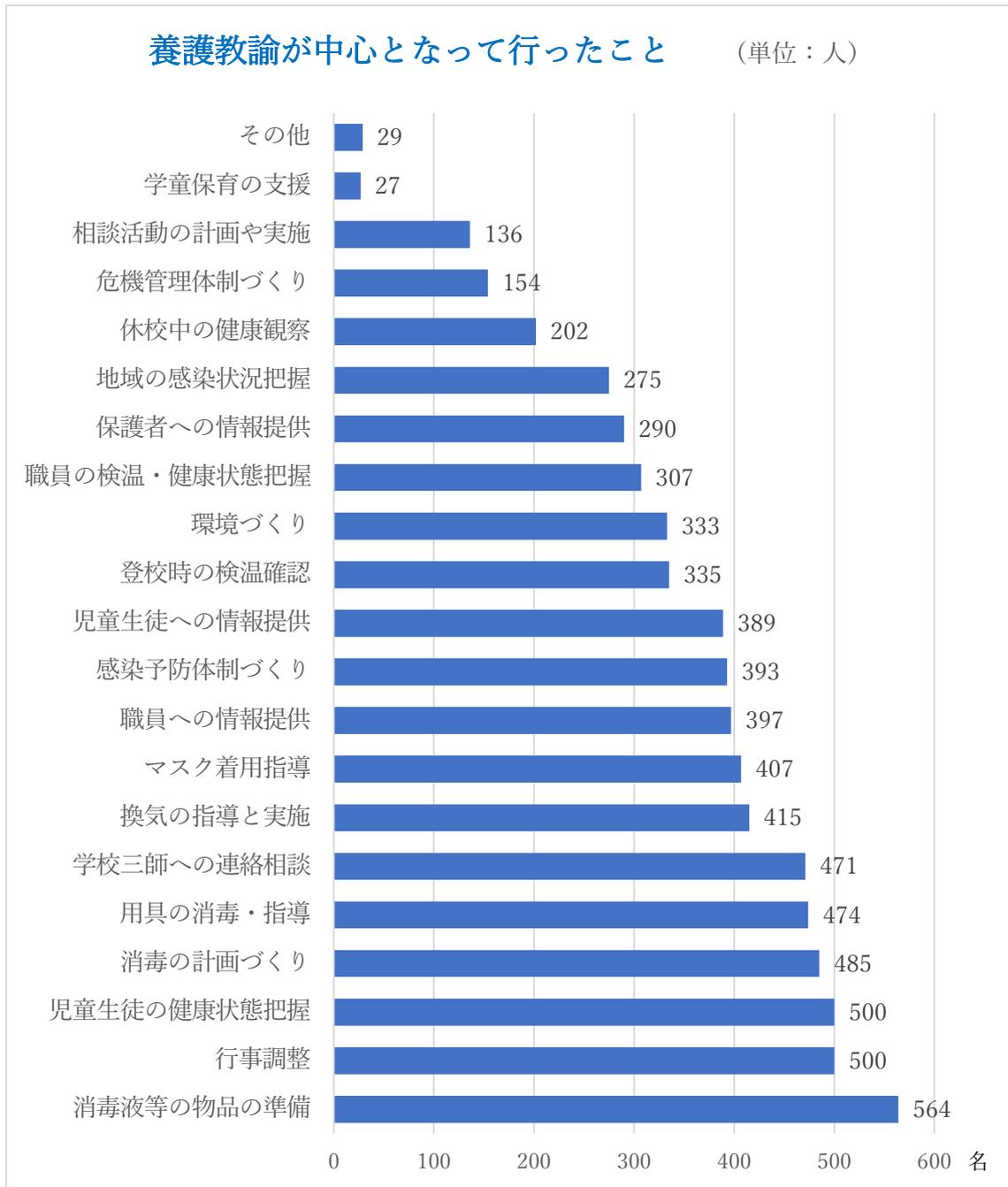


新型コロナウイルス感染症に対する養護教諭の取組についてアンケート集計速報

2020年11月

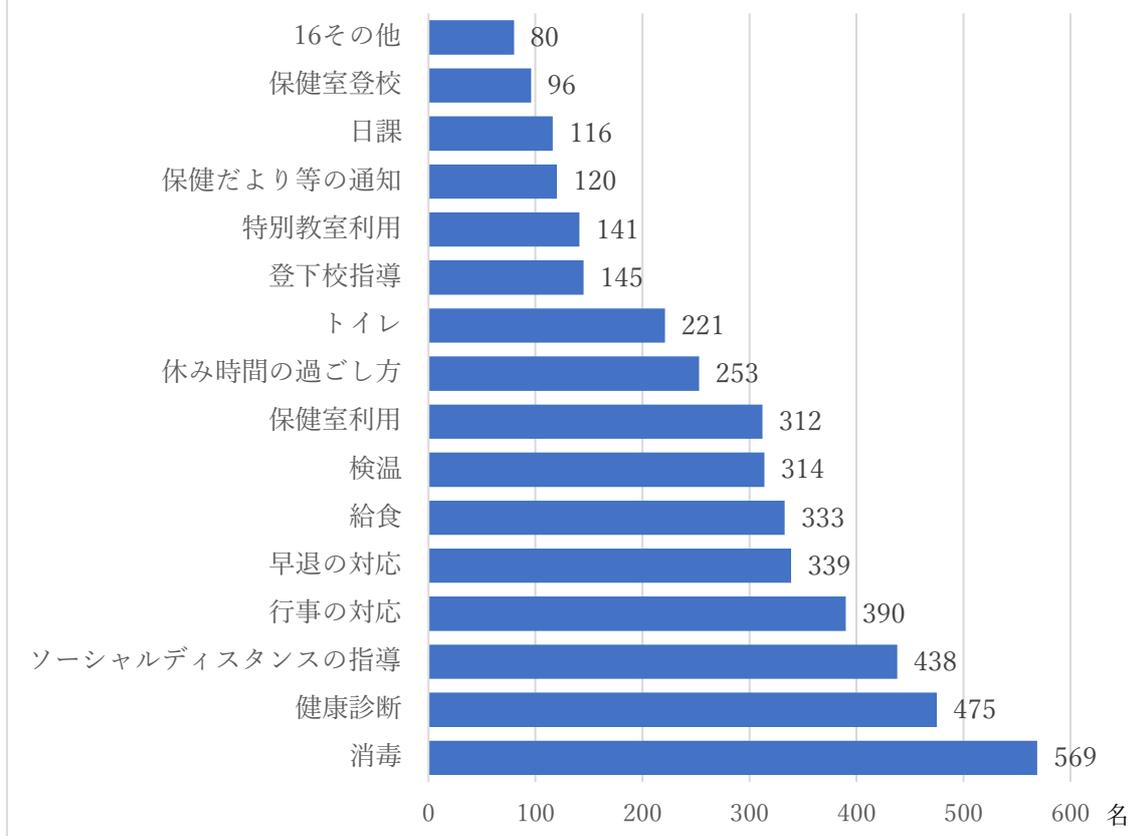
日頃より本会の活動に御協力をいただき感謝申し上げます。このたび新型コロナウイルス感染症に対する養護教諭の取組についてのアンケート調査に御協力いただき、ありがとうございました。587名の方からご回答をいただき、新たな感染症という困難な状況で、悩み、戸惑いながら対応された皆様の声を集めることができました。

速報として一部をお知らせします。



学校が再開されて大変なこと

(単位：人)



不安に思ったこと(自由記述より)

- ・対応について職員間の温度差を感じ、感染症予防の徹底が難しく感じた。様々な情報が行き交うことで混乱する場面もあり不安だった。
- ・定期健康診断と就学时健康診断の時期が重なり処理できるか。
- ・いつまで何をしたらいいのか、先が見えないこと。

苦勞したこと(自由記述より)

- ・感染症対策について正しい情報を収集すること。それをもとに自校化した具体的な感染症マニュアルを作成すること。
- ・児童のソーシャルディスタンス。熱中症と感染症対策によるマスクの使用方法。

うまくいったと思うこと(自由記述より)

- ・感染症対策を考える際に、管理職や教職員、また、中学校区で連携して考えることができたこと。
- ・一人で抱え込まず、多くの先生方と考えたこと。
- ・再開後に各クラスで感染予防の指導時間をもらえた。家庭教育学級で保護者に伝える場をもらえた。

詳しくは今後アンケート結果を考察し、会員の皆様にお知らせします